

週刊新社会

発行所：新社会党
〒104-0006 東京都中央区日本橋富沢町7-9 京桜興産ビル3F
TEL 03 (5643) 6002 FAX 03 (3639) 0150
振替 00140-0-149727 1ヵ月600円 郵送料1ヵ月160円

新社会ちば

2013年10月 133号

発行：新社会党千葉県本部

千葉市中央区新千葉 2-1-1 新千葉ビル 401
TEL 043-244-6865 FAX 043-244-6864
E-mail:sinsya@lily.ocn.ne.jp
HP URL:http://www1.ocn.ne.jp/~nsp/

9.14 さようなら原発 再稼働に反対し集会

亀戸中央公園に全国から9千人

9月14日(土)、亀戸中央公園で「再稼働反対! 9・14さようなら原発大集会」が開かれました。この集会は「さようなら原発」一千万人署名市民の会の主催で開いたもの。

この集会には全国から9千人(主催者発表)が集まり、千葉県からも反原発や平和運動で闘っている労組や団体、新社会党や憲法を活かす会関係者など多数参加しました。集会前の11時から「飲食物・書籍・グッズ」などの展示・販売や署名コーナーなどがオープン。小ステージでは、11時30分から音楽演奏やトークも行われました。

屋前から、ゼッケンをつけた人たちや、ノボリ旗や横断幕を掲げた人たちが会場に集まり始め、12時50分からメインステージで「第1部集会」が始まりました。ここでは、福島、青森、東海村、柏崎刈羽、横須賀、福井の代表から次のような報告がなされました。



集会後、デモの先頭に立つ(左から)、鎌田慧さん、大江健三郎さん、落合恵子さん

9月15日に大飯原発

が止まると全国の原発が全て止まるが、原子力空母や原子力潜水艦は原発以上に危険。その他、活断層や汚染水の問題、福島県内外での避難生活者の苦しみや問題、検察が福島告

訴団を不起訴にした問題、汚染水についてのもや孫たちのためにも、原発NOと言いつけよう」との力強い訴えに、会場から大きな拍手がわきました。

安倍首相の発言や再稼働の動きに対する怒り、福島原発事故の再検証を求める声など、原発の危険性や廃炉に向けた各地の取り組みが報告されました。

る日。今日の集会は、原発ゼロを少しでも長く闘っていく決意の集会。原発はなくても何の不自由もない。原発ゼロで良い。小泉元首相でさえ原発ゼロを言い始めた。原発推進派にも、原発に対する迷い、原発に対する断念、原発は危ない、原発は経済的に損失だ、という思いや世論が広がってきている。汚染水がいかにも自然を汚染しているのか。これは世界に対する犯罪でもあるし、未来の人類に対する犯罪でもある。絶対再稼働を認めないという思いで今日のデモ行進を果敢にやっていきたい。憲法9条を守りたい。運動と平和をめざす脱原発の運動は密接につながっている」と訴えました。

情報化時代といわれる中、9月9日「福島原発告訴団の告訴に対して検察は全員不起訴処分」との報道があった▼事件後「安全・安心」と講演し、住民を無用に被曝させた福島県の教授なども責任なしとか。家宅捜索などの強制捜査も行わず、異例にも福島地検が処分決定を東京地検に移送し、東京地検が1時間後に即決定。国家的不当行為である▼山本太郎参議院議員の9月28日千葉駅前での演説「秘密保全法案」では、政府にとって都合悪い情報は全部「特別秘密」にして原発やTPPで国民に知られ

オリンピックがぶいぶいじゃない 無責任な安倍首相の汚染水発言

音楽演奏をはさみ、「第2部集会」に移りました。

まず、呼びかけ人の一人である落合恵子さんが「IOC委員会で

の安倍首相の汚染水ブロックとアンダーコントロール発言は国際公約。誰も原発事故の責任を取っていないのがこの国の現実。いったん事故が起きたらどうしようもない現実のなかで、それでも再稼働を許すのか、経済優先なのか、絶えずこのことを問いかけていきたい。今、メディアはオリンピック一色の報道。この一色報道の向こう側で、原発も、基地問題も、福祉の切り捨ても、非正規社員の増加も、TPPも、改憲も、全部かき消されていくということを心

に刻んでいこう。子どもや孫たちのためにも、原発NOと言いつけよう」との力強い訴えに、会場から大きな拍手がわきました。



千葉からも多数参加

たものはコントロールされていないと言っている。私たちが問題としているのは、想定外である現実の問題。汚染水はいずれ外洋に流れ出し、国際的な問題となるだろう。マスコミのアンケートでは、70%の女性が原発廃止を求めている。それがオリンピックで揺らいでいる。しかしオリンピックが終われば何も残らない。だから、オリンピックが来たとしても、福島の現実を正しく伝えよう。そして、将来の子供たちが生きていくことのできる時代を残すこと志を一つにしていこう」とあいさつしました。

再び、福島、泊原発、伊方原発、川内原発の各地区代表があいさつしました。

その中で、県外での避難生活者は「今回の事故で、放射能と人間は共存できない。そのことをつかみ取るためには、自らが声を上げ、立ち上がることで未来が開けることを学んだ」と訴えていました。そのほか、各地の原発の危険性と廃炉を求める活動の報告がされました。

二コースに分かれデモ

集会後、バンドの演奏に送られて、浅草・押上コース(個人・市民団体・NGO)と錦糸町コース(平和フォーラム・全労協・労組関係・市民団体)の二手に分かれて都内をパレードして散会しました。

閉会のあいさつは鎌田慧さん。「明日9月15日は大飯原発が休止になり原発がゼロになり

たものはコントロールされていないと言っている。私たちが問題としているのは、想定外である現実の問題。汚染水はいずれ外洋に流れ出し、国際的な問題となるだろう。マスコミのアンケートでは、70%の女性が原発廃止を求めている。それがオリンピックで揺らいでいる。しかしオリンピックが終われば何も残らない。だから、オリンピックが来たとしても、福島の現実を正しく伝えよう。そして、将来の子供たちが生きていくことのできる時代を残すこと志を一つにしていこう」とあいさつしました。

再び、福島、泊原発、伊方原発、川内原発の各地区代表があいさつしました。

その中で、県外での避難生活者は「今回の事故で、放射能と人間は共存できない。そのことをつかみ取るためには、自らが声を上げ、立ち上がることで未来が開けることを学んだ」と訴えていました。そのほか、各地の原発の危険性と廃炉を求める活動の報告がされました。

閉会のあいさつは鎌田慧さん。「明日9月15日は大飯原発が休止になり原発がゼロになり

たものはコントロールされていないと言っている。私たちが問題としているのは、想定外である現実の問題。汚染水はいずれ外洋に流れ出し、国際的な問題となるだろう。マスコミのアンケートでは、70%の女性が原発廃止を求めている。それがオリンピックで揺らいでいる。しかしオリンピックが終われば何も残らない。だから、オリンピックが来たとしても、福島の現実を正しく伝えよう。そして、将来の子供たちが生きていくことのできる時代を残すこと志を一つにしていこう」とあいさつしました。

若者に夢を！お年寄りに安心を！



みずま雪絵

介護福祉士 (無所属・準期) 29歳

tel: 03-6662-7623

fax: 03-6662-7617

mail: info@mizuma-yukie.org

HP: mizuma-yukie.org

葛飾区議選

11月3日(日) 告示

10日(日) 投票

11日(月) 開票

介護の経験を活かし、若者もお年寄りも共生できる地域社会を創るために区議選への挑戦を決意しました。

知人・友人を
紹介してください

脱原発で闘う「なのはな生協」

10.29証人尋問が最終回に 年度内には判決の見通し

なのはな生協は、原発事故による風評被害や組合員の脱退等で損害を受けたとして、昨年9月24日に東京電力を提訴。この1年間裁判で争って来ました。この9月3日には第6回口頭弁論が行われ、今回の日程等(後述)が決まりました。

この裁判は、「なのはな生協」が当初、損害賠償請求した3342万円のうち、2012年4月6日以内払金として1051万円の賠償を受けました。しかし、放射線量測定の人件費など、2291万円について再三支払いを求めましたが、応じないため裁判でたたかっているのです。

何でもやって東電追い込む

「なのはな生協」(千葉市)の脱原発の活動についてはこれまで本紙で取り上げてきましたが、今でも、配送車に「原発はいらない」のゼッケンを付けて走るなどの活動を続けています。

毎回、裁判の前には、地裁前でノボリ旗を立てて門前集会を開き、多くの生協組合員、職員、福島や千葉県の生産者、支援生協、支援団体などで傍聴席を埋め尽くしてきました。また、口頭弁論後には、



9・14集会にも参加しました

近くの「きぼーる」や県弁護士会館で報告集会、組合員や支援団体などへの裁判費用のサポート、生協ユニースでの裁判報告など「出来ることはなんでもやり、東電を追い込む。3裁判官に怒りを見せつける」と頑張ってきました。

福島の原発事故から丸2年半が過ぎました。最近のマスコミ報道をみると、住民や現地の状況はより深刻化し、東電のデタラメさが浮き彫りになり、汚染水漏れなどで全世界に衝撃を与えています。オリンピックどころではありません。福島の被災者たちは、置き去りにされる。棄民だ。人も金も物資も業者も東京へ持って行か

れる」と嘆いています。むしろ、大騒ぎをしてオリンピックを目前に使用しています。

他の裁判にも道筋をつける

今回の報告集会で、弁護団長の福武公子さん(もんじゅ裁判の弁護団事務局長・今年3月11日千葉地裁に国と東電を提訴した原発避難者20名の弁護団長)は、「東電を他に先駆けて訴えたこの裁判の行方は全国で注目されている。国と東電は原発災害の時効や風化・幕引き・再稼働を画策している。この裁判は私たちのペースで進んでいる。勝利して

他の原発避難者の裁判などへ道筋をつけた」と力強く表明していました。

なお次回、10月29日の千葉地裁603号法廷での証人尋問が行われ、これが最終回となる模様で、年度内には判決が出される見通しです。また次回は、生協から理事長と専務理事、千葉と福島の生産者、組合員ら、計6人の証人調べが行われる予定です。10時15分から16時30分まで、昼食休憩をはさむ長丁場で最大の山場となりま

す。皆さんも傍聴に参加しましょう。

【大木】

国労千葉地本大会で役員改選

小林委員長が定年で退任
新委員長には、坂口・前書記長
新書記長には、松田・前業務部長



役員改選で新三役に選ばれあいさつする(左から)坂口新委員長、安田副委員長(再選)、松田新書記長。

国労千葉地方本部は9月28日、千葉市内で「第67回定期地方大会」を開きました。新社会党本部からは鳩川書記長が来賓として参加

し、連帯のあいさつをしました。大会では、質疑討論のあと、「反合理化・労働条件改善の闘いの強化と点検・摘発活動

による安全輸送の確立、会社と労使対等で平等な関係の確立と組織強化・拡大、脱原発・反原発、生活と権利・平和と民主議を守り拡大する闘いの強化」などの方針を決めました。

また役員改選では、小林委員長が退任、新委員長には坂口書記長が、新書記長には松田業務部長が選ばれました。なお、安田副委員長は再選されました。



鎌倉といえは四季折々の風情があつて、いつ行っても楽しむことができる。今年はずさいの時期に合わせに行ってみた。アジサイといえは長谷寺が有名で、昼過ぎに着いたが入園するのに長い行列ができていた。聞いたら30分から40分も待つという。で、しかたなく入るのはやめた。鎌倉に行ったらやはり鶴岡八幡宮だ。そのほか銭洗い弁天や露座の大仏、歴史のある神社仏閣など見て歩くのに事欠かない。ところが自分に限って言えば源頼朝の居城を見たことがない。京都ならもちろん広大な敷地を持つ御所や二条城には必ず行く。それなのに何

度も行ってる鎌倉で頼朝の住んでいたところを知らないのはなぜだろう。そこで調べてみたらやはりあった。当然なことだ。地図によれば鶴岡八幡宮のすぐ東側に大蔵幕跡という所があつて、そこには頼朝の墓もある。この地に館があつたという。今度行ったら尋ねてみようと思う。

ところで、我々が子供のころ、鎌倉幕府が成立した年を「い国つくろう鎌倉幕府」とゴロ合わせして1192年と覚えていた。「泣くよ驚平安京」(794年)もそうだ。ところが、その定説が変わってしまったという。新しく設定された年度は1185年で、「いい箱つくろう鎌倉幕府」になったらしい。その理由は、1185年に頼朝が朝廷に、日本全国への守護大名や地頭の設置を認めさせたことから、実質的な支配、権力が頼朝に移ったと考えられるからだという。この歳になって改めて覚えなおすのは大変なことだが、歴史の事実がそうならば仕方ないことだ。

【菅原】